

令和五年度茅ヶ崎俳句連盟合同吟行会入賞者一覧表

令和5年11月30日

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	順位																																																	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	入選	茅ヶ崎俳句連盟 会長賞	岩沢日月賞	賞																																																	
8	8	9	9	9	11	12	13	13	14	14	17	18	20	23	27	総得点																																																	
6	2	1	7	4	5	4	5	7	2	8	3	4	8	6	7	1	12	7	7	2	12	8	9	4	14	6	14	10	13	15	12	得点																																	
44	38	73	16	89	24	76	36	47	3	112	111	104	99	90	53	79	48	95	64	98	77	97	71	83	29	70	11	57	13	109	88	句番																																	
散紅葉ひとつ冊子に納めけり		裸木の枝のびやかに朝日受け		行末の暗澹として冬紅葉		一陣の風に落葉のかけくらべ		日溜りに鳩首をちこち小六月		大富士へ掛ける蒲団は萌黄色		いつせいに散る冬帽やかくれんぼ		寒鴉啼く宴のあとの野球場		木の葉舞ふ走る子跳ぶ子未来の子		薦紅葉舞台彩るおもてなし		新松子褪せずありけるらいてふ碑		築山に陶の人形石路明り		海風に色を揺らして木の葉散る		歩を止める人なき冬の一里塚		日溜りのベンチうろ／＼冬の蠅		先のことばかり考へ落葉踏む		切り株の洞の中なる草の花		三拍子杖と踏みゆく落葉道		嬰のもの干されてふはり冬の蝶		烏帽子岩みめよく晴れて波小春		せせらぎに彩泳がせて冬紅葉		光の符風の符となり落葉舞ふ		木の実落ちつなぐ命のバトンかな		戦地へと続く青空鳥渡る		小流れに柵みとなる散り紅葉		樹々は脱ぎ人は纏ひて冬仕度		ゆさゆさとリュックの葉付き大根かな		風を追い風に追はるる散紅葉		空に伸ぶ素描の如き冬木立		木の実落つもの言いたげに又一つ		遠富士の空の余白を冬の蝶		翳るほど耀ふ石路の花あかり		三拍子杖と踏みゆく落葉道	
元町	甘沼	南湖	中島	東海岸	浜竹	甘沼	香川	茅ヶ崎	平和町	今宿	芹沢	菽園	十間坂	東海岸	松浪	住所																																																	
土屋節子	高橋美代子	長堀育甫	日高朝代	溝呂木陽子	宮澤進	金丸知子	碓百合子	能勢仲子	松田ます子	清水吞舟	西岡青波	岩田かつ子	伊藤あつ子	佐久間由美子	坂口和代	氏名																																																	

「当季雑詠」

特別賞			
秋山顧問	長島顧問	碓顧問	清水会長
句番			
88	13	##	48
翳るほど耀ふ石路の花あかり	木の実落つもの言いたげに又一つ	色変えぬ松や石碑の団十郎	三拍子杖と踏みゆく落葉道
受賞者氏名			
坂口和代	佐久間由美子	塩崎琴	能勢仲子

